

「2020(令和 2)年度 自己評価の公表」

社会福祉法人さつき会
たじりこども園

○4段階で評価をおこなった。

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

○評価項目の数字は人数である。

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
001	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解しているか？	3	10	5	
002	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがあるか？	3	15		
003	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を養う重要なものであることを理解しているか？	9	8	1	
004	保育の原理である、人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう保育の計画や実践に努めているか？	4	11	3	

【評価】教育及び保育の基本と目標については、ほとんどの職員が重要性を理解し、実践に努めているという結果であった。今後はより理解を深め、実践に際して細やかな計画を立てていくことを目標としていく。

2. 特に配慮をすべき事項

(1) 教育及び保育の配慮

	設 問	A	B	C	D
005	登園してくる子どもに、あいさつをしながら、視診・触診をして健康状態を確認しているか？	10	8		
006	子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけているか？	3	15		
007	基本的な生活習慣に基づき、あいさつ等、日常生活に必要な言葉を使っているか？	8	10		

【評価】「A」または「B」の回答であったので引き続き、園児一人ひとりに教育及び保育の配慮を行い、温かくおだやかな対応を心掛ける。

(2) 健康支援

	設 問	A	B	C	D
008	感染症が発生した際は、口頭及び文書や掲示板等で保護者に伝えているか？	7	11		
009	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしているか？	8	8	2	
010	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めているか？	5	12	1	
011	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮しているか？	7	10	1	
012	あなたは、不審者が園内に侵入した際、どのように対応するかを理解しているか？	4	14		

【評価】「A」または「B」の回答が多かった半面、「C」の回答もあった。今一度マニュアルを職員会議等で共有したり、不審者の避難訓練等を複数回おこなったりしていく。

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
013	子どもの体調に応じ、食事の量を調整したり、食べ物を残したり偏食をするときは過度に叱らないように心がけているか？	5	13		
014	その日の給食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせているか？	9	7	2	
015	食べることの意味や命について考える機会をつくっているか？（人の命、動物の命、植物の命）	2	8	8	
016	よく噛んで食べることが食物の消化・吸収をよくすることを理解できるように伝えているか？	4	12	2	
017	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して除去食を取り入れるなどの配慮をしているか？	9	9		
018	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成しているか？	1	11	6	

【評価】園児一人ひとりの体調や個人差などに合わせて、無理なく食事ができるように、また学年に応じた食育計画の作成に今後も取り組んでいく。

(4) 特別支援教育・障がい児保育

	設 問	A	B	C	D
019	障がいの種類やその特質を理解することができているか？	3	10	5	
020	園と個人の指導計画に沿って適切な発達援助ができているか？	3	7	8	
021	障がいのない子どもも障がいのある子どもも、お互いの良さを感じるように保育の配慮をしているか？	4	11	3	

022	療育機関・医療機関等の専門機関から、子どもの障がいについて必要に応じて助言を受けているか？	3	10	5	
023	障がいのある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるように努めているか？	3	8	7	

【評価】「C」の回答もあった。適切な援助ができるように、職員会議等で情報を共有したり、研修でスキルを磨いたりしていく。

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
024	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解しているか？	8	10		
025	子どもの思いを十分に受け止めることができているか？	3	13	2	
026	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育をしているか？	6	11	1	
027	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意しているか？		15	3	
028	子どもの心が健康に育つため、安心感のある環境づくりに努めているか？	4	12	2	

【評価】主体的に関わる環境の用意、安心感のある環境づくりという設問に「A」がなく、「B」または「C」の回答が見られたので、保育計画でのねらいを明確にし、園児が自ら進んで関われる、安心感のある環境を用意するように努め、「A」の評価が増えるようにする。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1.保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
029	一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気づくことができているか？	3	14	1	
030	こども園は、子ども一人ひとりと集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを理解しているか？	7	11		
031	食前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしているか？	10	5	3	
032	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害に想定した避難訓練も行なっているか？	6	10	2	
033	子どもの安全を確保し、避難誘導が適切にできるか？	8	9	1	

【評価】食前や排泄後の手洗いの励行については、「A」の回答が多かったが、「C」の回答もあった。「A」と評価できるように徹底していく。また、避難訓練を毎月1回行っているが、「C」の回答も少数あったので、避難訓練が実際の災害に役立つように、危機感を持って取り組んでいく。

2.保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
034	いろいろな人（高齢者・地域の方）と触れ合うことの素晴らしさを子どもに伝えることができているか？	1	12	5	
035	友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしているか？	7	10	1	
036	人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切にすることを養う保育ができているか？	4	13	1	
037	社会的ルールを正確に理解できるよう導き、間違いに気づけるように援助をしているか？	4	14		

【評価】 高齢者、地域の方との触れ合いは近年あまりできていないので、コロナウイルス感染症の流行が収まったら、徐々に再開していきたい。

3.保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
038	大きな自然、小さな自然、街中の様子などから、まずは保育教諭自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしているか？	4	11	3	
039	子どもが自然を観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助しているか？	4	12	2	
040	数量や図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫した保育をしているか？	5	9	4	
041	伝統的な年中行事等を保育に取り入れているか？	8	9	1	

【評価】 園の立地環境においては恵まれており、日々の保育の中で四季を十分に感じることができるので、利点を最大限に生かせるように工夫をしていく。

4.保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
042	保育教諭自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するように心がけ、人の話を聞く態度を身に付けさせることができているか？	1	13	4	
043	子どもが分からないことを訊ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っているか？	3	13	2	
044	行事や体験を通して感動したり発見したりする場を設定し、その後の表現につながる配慮をしているか？	6	10	2	
045	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気付くように心がけているか？	9	7	2	

【評価】 「C」の回答もあるので、言葉の大切さや表現方法など、保育士自身が豊かに使うことで養われていくことを改めて認識し、今後も更に心掛けていく。

5.保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
046	計画を立て、目標を持って音楽活動を行なっているか？	2	6	10	
047	音楽活動の中で、子どもの個人差を理解し、能力・適性・興味に応じて、楽しく取り組めるように配慮しているか？	3	13	2	
048	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っているか？	3	9	6	
049	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気付くように援助しているか？	3	12	3	
050	さまざまな楽器に触れて親しみを持たせ、楽器の扱いを正しく子どもに指導できているか？	3	11	4	

【評価】年間を通して、季節の歌や手遊びなどを取り入れたり、学年によってリトミックや和太鼓などの活動を行ったりしているが、「C」の回答もあるのでより細かなねらいを設定し、学年ごとの目標を定めて音楽活動を進めていけるように取り組む。

2. 0歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
051	おむつ交換時は、言葉かけや歌などを口ずさみながら楽しい雰囲気を取り換えるようにしているか？	6	13		
052	睡眠が十分にとれるように、静かな環境を整えているか？	9	11		
053	午睡状況(呼吸、顔色、嘔吐、汗)を常に観察するとともに、SIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録しているか？	5	10	3	
054	家庭からの連絡帳の記入を毎朝見て、睡眠時間、食事、授乳の時間等、必要事項のチェックを行っているか？	5	8	5	
055	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせて、無理なく行っているか？	4	13	1	
056	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認しているか？	3	9	6	
057	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有しているか？	8	9	1	

【評価】連絡帳の記入のチェックが「C」の回答があるので、複数担任のクラスもしっかり確認し、連絡漏れのないように注意する。睡眠、排泄、食事などの基本的な生活において、安全で豊かな生活を送ることができるように引き続き努める。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
058	子どもの発達過程やその連続性に踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行わなければならないことを理解しているか？	7	10	1	

059	保育課程に基づいた具体的な指導計画を作成できているか？	1	11	6	
060	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方等、具体的に指導計画で受け止め、計画に取り入れているか？	1	11	6	
061	入園時期には生活リズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成しているか？	3	11	4	
062	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できるか？		12	6	
063	多様な保育需要に対して、地域やこども園の特性を考慮した柔軟な計画が作成できているか？		9	9	

【評価】 おおむね「A」または「B」と回答しているが、「C」の回答もあるので、より担任同士で共有し、クラス全体で指導計画に沿って保育を進めていく。

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
064	保育教諭は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならないことを理解しているか？	11	7		
065	研修会等への積極的、計画的参加をする中で、新たな課題と情報収集ができていますか？	2	11	5	
066	園の保育理念や基本方針を正しく述べるができるか？	1	8	9	
067	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽しているか？		14	4	
068	保育教諭としての自分の長所と短所が分かるか？	5	13		
069	周囲の人や来客に対して清潔感を与える対応や身だしなみを実践しているか？	3	15		
070	いつも笑顔であいさつや対応ができ、心配りのあるマナーやエチケットを会得し、励行しているか？	4	10	4	
071	規則正しい生活を送り勤務に支障をきたさないよう、自己の健康管理に努めているか？	7	9	2	
072	保育教諭としての生活、行事をこなし、毎日楽しく勤務しているか？	6	11	1	
073	他の保育教諭等とのコミュニケーションを密に行ない、また相手の意見に耳を傾け相手がどのような思いでいるのか、行動をとったのか考えることができていますか？	4	11	3	
074	職員間において常に報告、連絡、相談を行なうようにしているか？	6	9	2	

【評価】 研修で学んだことを復命書の回覧や職員会議で共有し、他の職員も共に向上できるように引き続き努める。「C」という評価から少しでも上がるようにする。

第7章 子育て支援

	設 問	A	B	C	D
075	子育ての悩みを安心して話せるように、送迎の際、保護者と会話を交わしたり、連絡帳等で情報を交換したりすることを積極的に行っているか？	8	8	2	
076	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、上司に相談するなどしているか？	10	7	1	
077	保護者に現在の子どもの状況を分かりやすく伝え、なるべく具体的な事例で楽しさ、喜びが伝わるよう配慮しているか？	8	10		
078	一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮しているか？	7	9	2	
079	懇談等を通して、園での様子、家庭での様子を共有しているか？	5	10	3	
080	保護者の子どものプライバシーに留意しているか？	13	5		

【評価】保護者に園での様子や家庭の様子など日頃から伝えることの必要性は感じており、連絡帳などで情報を伝え合うことは今後も一層強化していく。保護者対応は主に主担任が行っているので複数担任のクラスでは担任同士の連携をしっかりと取っていく。

【まとめ】

今年度は、コロナウイルス感染症などの流行により、園内外の活動や行事が著しく減少し、地域の方とのふれあい等も中止となった。そのため保育計画なども大幅に変更し、コロナ禍のなか園内で安全に過ごすことを最大の目標としてきた。また、参観日やクラス懇談なども例年通りには開催できず、保護者の皆様に園での様子を観ていただくことが難しかった。

来年度は、コロナ禍での十分な感染症対策をおこないながら、どのように活動や行事を再開し、園児の成長を促していくか、保護者や地域の方との交流を充実させていくかということが課題になっていく。

職員一人ひとりがこの自己評価をみつめ、改善するよう努めていく。